



<p>はじめて哲学する本 藤原和博/著 ディスカヴァー・トゥエンティワン ¥1,500 子どもだけではなく、大人も楽しく読め、かつ「人生」についても一度考えるきっかけになる新しい哲学の本。学校では教えてくれない、もしかしたら一生教わらないかもしれない人生の25の「ツボ」と「コツ」。</p>	<p>言葉はなぜ生まれたのか 岡ノ谷一夫/著 石森愛彦/絵 文藝春秋 ¥1,429 「なぜ人間だけが言葉を使うのか」一鳥の歌を研究する著者が見つけた、ジュウシマツの歌とヒトの言葉の共通点とは?色鮮やかでユニークなイラストが魅力的な、分かりやすい科学入門の書。</p>	<p>犬部 北里大学獣医学部 片野ゆか/著 ポプラ社 ¥1,400 北里大学獣医学部に実在するサークル「犬部」。行き場のなくなった犬や猫を保護して世話をしている大学生たちの、笑いあり涙ありのノンフィクションです。命を守る活動に奮闘する学生たちの姿に感動します。</p>	<p>空が青いから 白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集 受刑者/詩 寮美千子/編 長崎出版 ¥1,500 編者と受刑者との、童話と詩の授業から生まれた57編が収められた詩集。人と人をつなぎ、人を変え、心を育てる「詩の力」を実感してください。先入観なしで読んでほしい一冊。</p>	<p>アナザー修学旅行 有沢佳映/著 講談社 ¥1,300 中学校生活最大のイベント、修学旅行に参加できなかった6人の三日間。骨折で急遽不参加になった私は、普段口も利いたことのない5人と同じ教室で過ごすことになり…。本書で第50回講談社児童文学新人賞を受賞。</p>

<p>100km! 片川優子/著 講談社 ¥1,200 著者が実体験で受けた衝撃をもとに、書き下ろした作品。知らないうちに参加の申し込みをされて、100km歩く羽目になってしまった女子高生みちる。自分と戦い続けた彼女をゴールで待っていたのは…。</p>	<p>ピアチェーレ 風の歌声 にしがきようこ/作 北見葉胡/画 小峰書店 ¥1,400 複雑な家庭に育った嘉穂は、家でも学校でも周囲に気を遣い、心を閉ざしがちでした。そんな嘉穂が声を出して歌うことの楽しさに目覚め、自分を解放していくことで気持ちに変化が表れます。</p>	<p>ライオンとであった少女 バーリー・ドハーティ/著 齋藤倫子/訳 主婦の友社 ¥1,600 英国とアフリカ、遠く離れた二つの魂の出会いを描く心温まる物語。絶望的な状況から希望の芽が見えてきて、心の底から温かい幸福感をもたらしてくれる結末。</p>	<p>希望のいる町 ジョン・パウアー/著 中田香/訳 作品社 ¥1,800 ウェイトレスをしながら高校へ通う少女ホープは、名コックの叔母と、引越してきた小さな町の町長選挙で、正義感に燃えて大活躍。ニューベリー賞オナー賞受賞。</p>	<p>ほしをめざして ピーター・レイノルズ/文・絵 のざかえつこ/訳 岩崎書店 ¥1,300 人生の道しるべを見失っている人、道に迷って立ち止まっている人、勇気を出して歩き出そうとしている人。自分だけの自分らしい旅をすればいいんだよと導いてくれる絵本です。</p>

編集・発行 愛媛県立図書館 (子ども読書係)

掲載については出版社の承諾を得ています。無断で転載することを禁じます。

児童書を豊富に取り揃えた
子ども読書室

幅広い分野の児童書を揃え、季節、作家、各種テーマに沿った本の特別展示、掲示の工夫をして、子どもや大人が本を手取るきっかけや本を選ぶ際の支援をします。また、本の紹介や調べものの支援を行い、子どもと本の出会いを応援します。

子どもの読書に関する相談窓口
子ども読書支援センター

地域の読書活動を支えるキーステーションとして、また、子どもの読書に関する総合的な案内窓口として、みなさんの相談に応えます。子どもの読書に関することなら何でも、遠慮なくお問い合わせください。



連絡先

〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県立図書館 子ども読書室・子ども読書支援センター
TEL:089-941-1441(代表) FAX:089-941-1454 <http://www.ehimetosyokan.jp/>



たん けん
探検しよう!
ほん くに
本の国



子どもにおすすめの本 2011
愛媛県立図書館



昨年一年間に発行された子どもの本の中から、幼児から中高生までを対象に、50点を選びました。家庭での読書や、学校での読書指導の参考になれば幸いです。価格は、平成23年3月末現在の本体価格です。

幼児



<p>ジェリーのころころ 矢野アケミ/さく 大日本図書 ¥1,100 犬のジェリーは転がすのが大好き。ボールもスイカもころころ。転がすものがだんだん大きくなって…。赤ちゃんと一緒にリズムを楽しみたい絵本です。</p>	<p>もりのてぶくろ 八百板洋子/ぶん ナターリヤ・チャルーシナ/え 福音館書店 ¥800 きれいな黄色の葉が1枚森の小道に落ちていました。その形は、まるでてぶくろのよう。秋の日の、森の中の1枚の葉っぱと動物たちの出会いが、幻想的に描かれています。</p>	<p>まるまるまるのほん エルヴェ・テュレ/さく たにかわしゅんたろう/やく ポプラ社 ¥1,300 「まるで生きているようなまるを使って遊ぶ まるつきり新しい」フランスから小学生まで楽しめます。</p>	<p>おらんうーたんのおうち 岩合日出子/ぶん 岩合光昭/しゃしん 福音館書店 ¥900 オランウータンにとっては、森中が「おうち」。木から木へ枝をつたいながら「おうち」の中を移動して暮らすオランウータンの生き生きとした姿が輝いて見える写真絵本。</p>	<p>ただしい?! クマのつかまえた クレア・フリードマン/作 アリソン・エッジソン/絵 しらいすみこ/訳 ひさかたチャイルド ¥1,500 ウサギなのにクマが大好きなフリップは、「クマのつかまえた」という本を買ってクマを捕まえて出かけます。本のおりに進んでいくと、ちょうどお腹を空かせたクマが…。</p>

<p>ナミチカのきのこがり 降矢なな/作 童心社 ¥1,300 あなたは、きのこ狩りに行ったことがありますか? 作者が住んでいるスロヴァキアの森の空気を感じながら、初めてきのこがりに出掛けたナミチカと、森のきのこたちとの不思議な時間を楽しんで下さい。</p>	<p>クリストファーのしあわせないちにち バレリー・ゴルバチョフ/作 三原泉/訳 偕成社 ¥1,400 数の数え方を教わったうさぎのクリストファー。身の回りにあるものを片っぱしから数えることに夢中です。遊ぶときも、食べる時も、寝るときも。親子で一緒に数えたい絵本です。</p>	<p>ものすごくおおきなプリン 二宮由紀子/ぶん 中新井純子/え 教育画劇 ¥1,300 ものすごく大きなプリンを想像するだけでも楽しいのに、その上でなわとびをするとは! なわとびシーズンの読み聞かせにぴったりです。</p>	<p>どんぐりむらのぼうし屋さん なかやみわ/さく 学研 ¥1,200 どんぐりのぼー、ちい、くりんは、どんぐり村の帽子屋さん。村では帽子が売れないので、町へ売りに出かけます。ある日、ねずみの親子が帽子を買ってくれましたが…。そのあとわくわくの結末が!</p>	<p>さくら 長谷川摂子/文 矢間芳子/絵・構成 福音館書店 ¥900 桜の木の一箇年の営みが描かれています。春夏秋冬と季節が変わるにつれて、違った色合いと輝きを見せる桜の木。繊細な美しさや優しさを感じられる絵本です。</p>

小学1・2年



<p>とんぼ ぎんやんまの一生 新版 得田之久/ぶん・え 福音館書店 ¥1,000 昆虫絵本作家である著者の、初期の絵本が新版としてよみがえりました。簡潔な表現と、細密な絵により、小さな子どもから楽しめます。昆虫の生活を身近に感じられる一冊。</p>	<p>おすしのさかな ひさかたチャイルド ¥1,000 子どもたちにも人気のお寿司。その材料になる魚は、どんな姿で泳いでいるの?どうやってお寿司になるの?伝統的な日本の食べ物への興味をふくらませ、食育にぴったりの科学絵本です。</p>	<p>ジャングルめがね 筒井康隆/作 にしむらあつこ/絵 小学館 ¥1,100 しんすけくんが持っているジャングルめがねは、周りの人たちがジャングルの動物に見えちゃう不思議なめがね。ある日、しんすけくんは大事件を目撃、追跡することに。</p>	<p>すずめのくつした ジョージ・セルデン/ぶん 光吉郁子/やく ピーター・リップマン/え 大日本図書 ¥1,200 アンガスの家で作るくつしたは、寒い冬になってもさっぱり売れません。ところが、ある日、アンガスが、仲良しのすずめに赤いしま模様のくつしたを編んでやったことから、事態は思いがけない方向に…。</p>	<p>もりのたいしょうははりねずみ モーラ・フェレンツ/さく レイク・カーロイ/え うちかわかずみ/やく 偕成社 ¥900 森の大將は自分だと思っていたくまが、かしこいはりねずみにだまされる楽しいお話。いばりんぼうのくまが、小さなはりねずみにしてやられる様子がゆかいに描かれています。</p>

小学3・4年



<p>しめかざり 森須磨子/文・絵 福音館書店 ¥1,300 新年を迎えるときに家の門や玄関に飾られているしめかざり。実は、地方によって形が違うことを知っていましたか?それぞれの形に人々の感謝の気持ちや願いが込められているのです。</p>	<p>モグラの生活 飯島正広/文・写真 福音館書店 ¥1,300 物語や絵本では身近な存在でも、普段は見かけることのないモグラ。そのだれも見たことのないモグラの生活を、長年観察し、豊富な写真と分かりやすい言葉で記した科学絵本。モグラの赤ちゃんも必見。</p>	<p>きのうの夜、おとうさんがおそく帰った、そのわけは…… 市川宣子/作 はたこうしろう/絵 ひさかたチャイルド ¥1,300 時々帰りの遅いお父さん。その理由とは…!お父さんが話すユニークで奇想天外な物語。こんな素敵な言い訳だと納得しますね。</p>	<p>玉子の卵焼き 上條さなえ/作 陣崎草子/絵 文溪堂 ¥1,300 双子の妹「玉子」は、勉強も運動もダメで、友達とけんかをしては先生に注意されていることがぼくの悩みのタネ。そんな玉子があるコンテストに出場することになってから、家族の様子が少しずつ変わっていきます。</p>	<p>ヤマトシジミの食卓 吉田道子/作 大野八生/画 くもん出版 ¥1,200 仲良しの友達が引っ越してしまっ一人ぼっちのかんこは、空き地の石を「ヤマトシジミの食卓」だと教えてくれた風助さんというおじさんを家に連れて帰り、一緒に暮らすことに…。読後、じんわりと感動が続く一冊。</p>

小学5・6年



<p>図書館ラクダがやってくる 子どもたちに本をとどける世界の活動 マーグリート・ルアーズ/著 斉藤規/訳 さ・えら書房 ¥1,400 本を読みたいのに本がない。世界にはそんなところがたくさんあります。世界13か国の珍しい移動図書館と図書館員の活動を紹介します。心に残る写真絵本。</p>	<p>どうしてアフリカ? どうして図書館? さくまゆみこ/著 沢田としき/絵 あかね書房 ¥1,300 著者とアフリカとの出会い、アフリカのもっている問題について、著者自身の体験をもとに書かれた本。アフリカの魅力と、食料や医療支援ではなく、なぜアフリカに図書館なのか明らかに。</p>	<p>石の中のうずまき アンモナイト 三輪一雄/文・絵 松岡芳英/写真 福音館書店 ¥1,300 太古の海に生きたアンモナイト。石の中に隠された渦巻き模様。その美しさに魅せられた著者による、初めて化石を探しあてた話やさまざまなアンモナイト化石などを、写真と絵で楽しめる一冊です。</p>	<p>小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅 渡辺勝巳/監修 佐藤真澄/著 汐文社 ¥1,400 日本の宇宙開発に大きな「財産」を残し、私たちに感動や勇気を与えてくれた小惑星探査機「はやぶさ」。旅立ちから地球帰還まで、なんと7年!その長い長い冒険の物語です。</p>	<p>つづきの図書館 柏葉幸子/作 山本容子/絵 講談社 ¥1,500 田舎の図書館に勤めることになった桃さんは、だれもいないはずの2階で声をかけられます。声の主は「つづき」を知りたい本の登場人物たち。その手助けをする桃さんの人生も垣間見える、短編連作。</p>



<p>おじいちゃんケーキをつくろう マリサ・ロベス=ソリア/作 宇野和美/訳 つちだよしはる/絵 日本標準 ¥1,400 友達や飼犬と別れて引っ越したカミーラとおじいちゃんのお菓子作りのお話。二人で話さうち、カミーラの寂しさも消えていき…。スペイン、ムルシア児童文学賞受賞。</p>	<p>ふたりのサンドウィッチ ラーニア・アル・アブドラー (ヨルダン王妃)/さく ケリー・ディキオ/ぶん トリシャトウサ/え TOブックス ¥1,200 リリーとサルマは大の仲良し。いつも一緒だけど、二人の食べ物はずっと違います。その違いが大事件を起こすことに!友情は文化の違いも超えられという素敵な絵本。</p>	<p>じごくのラーメンや 荻田澄子/作 西村繁男/絵 教育画劇 ¥1,100 じごくのえんまさまが開いた、辛い辛いラーメン屋。全部食べた天国に行けると大人気!でも、辛すぎてひっくり返る人や鬼が続出。そのうわさは天国にまで届きました。そして、お客としてやってきたのは…。</p>	<p>とら猫とおしょうさん 日本昔ばなし おざわとしお/再話 かないだえつこ/絵 くもん出版 ¥1,600 毎晩出かける飼猫とらを不思議に思い、貧乏寺の和尚さんは後をつけてみます。着いた所は猫の宴会場。翌日とらは、和尚さんに不思議な言葉を言い残し出て行きました。くさん教えてくれるのです。</p>	<p>スプーンくん エイミー・クラウス・ローゼンタール/ぶん スコット・マクグーン/え 石津ちひろ/やく BL出版 ¥1,200 スプーンくんの元気がありません。ナイフくんやフォークちゃんと自分を比べて落ち込んでいるようです。それを知ったみんなは、スプーンくんのいいところをたくさん教えてくれるのです。</p>



<p>なんでももってる(?) 男の子 アイアン・ホワイブラウ/作 石垣賀子/訳 すぎはらともこ/絵 徳間書店 ¥1,300 大金持ちの一人息子で何でももってるフライは、誕生日にごく普通の子ビリーを呼んで、自慢しようとするのですが…。</p>	<p>アキンポと毒ヘビ アレグザンダー・マコー ル・スミス/作 もりうちすみこ/訳 広野多珂子/絵 文研出版 ¥1,200 ヘビ園の園長をしているおじさんを手伝うようになったアキンポは、ある日危険なヘビ、グリーンマンバをつかまえます。その帰り道、アキンポに大変なことが…。「アキンポシリーズ」の4作目。</p>	<p>ぼくのブック・ウーマン ヘザー・ヘンソン/文 デイビッド・スモール/絵 藤原宏之/訳 さ・えら書房 ¥1,400 今から80年ほど前のアメリカに実在していた女性図書館員をモデルに作られたお話。馬に乗って、家々に本を配って回る図書館員と、ある家族との交流が温かく描かれています。</p>	<p>ポインセチアはまほうの花 メキシコのクリスマスのおはなし ジョアンヌ・オープンハイム/文 ファビアン・ネグリン/絵 宇野和美/訳 光村教育図書 ¥1,500 ポインセチアがなぜクリスマスの花として用いられるようになったのか。そこには昔から伝わる奇跡のお話がありました。ポインセチアを見るたびに思い出してしまいそうな印象的な絵本です。</p>	<p>王さまライオンのケーキ はんぶんのはんぶん ばいのはんぶん おはなし マシュー・マケリゴット/作・絵 野口絵美/訳 徳間書店 ¥1,600 王さまライオンに招かれた食事会で、動物たちは出されたケーキを半分ずつ切り分けて取っていきました。最後に回ってきたアリのケーキは、半分の半分の半分の半分の半分の半分の半分に…。</p>



<p>赤い髪のミウ 末吉暁子/著 平澤朋子/画 講談社 ¥1,400 小学6年生の航は、不登校の現状から逃げるように南の島に留学センターへやってきました。そこで出会った赤い髪のミウは、自由奔放で不思議な女の子。精霊キジムナーとも話せるのです。ミウのまっすぐさに惹かれながら不安定な航。そこに事件が起こります。</p>	<p>卒業の歌 ～ぼくたちの挑戦～ 本田有明/著 PHP研究所 ¥1,300 入院した祖母に歌を贈ることになった翔太。同じクラスの麻里絵と一緒に作った歌がきっかけで、クラスで校内合唱コンクールに作曲で挑戦することになります。いつもはバラバラのクラスがまとまり始めたとき…。さわやかな友情を描いた物語。</p>	<p>片腕のキャッチ M.J.アウク/作 日当陽子/訳 フレーベル館 ¥1,400 ピッチャーになることを夢見ている少年ノームは、事故で左手を失ってしまいます。親友や母親に支えられ、あきらめずに野球の練習に励むノーム。実在の人物をモデルにした明るく前向きな感動ストーリーです。</p>	<p>アニーのかさ リサ・グラフィ/作 武富博子/訳 講談社 ¥1,400 アニーは大好きな兄を急病で亡くして以来、病気や怪我を過度に恐れています。両親もアニーの心の助けにはならず、友達とも仲違いする事に。そんな時、お向かいに一人のお重いテーマですが、明るい語り口に心が温くなる物語です。</p>	<p>マグナス・マクシマス、なんでもはかります キャスリーン・T・ベリー/文 S.D.シンドラー/絵 福本友美子/訳 光村教育図書 ¥1,400 ものをはかったり、数えたりするのが大好きなマグナスさん。町中のものをはかる係に任命されます。ところがある日、仕事を休んで子どもと遊んでみて、はかれないものに気がきます。</p>